

2020年11月9日

各 位

会社名 朝日印刷株式会社
 代表者名 代表取締役社長 濱 尚
 (コード番号 3951 東証第二部)
 問合せ先 常務取締役 広田 敏幸
 (TEL. 076-421-1177)

2021年3月期 通期連結業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2020年8月7日に公表した2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の連結業績予想および2020年9月14日に公表した2021年3月期の期末配当予想について、下記のとおり、修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年3月期の連結業績予想について（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,500 ～39,600	1,080 ～770	1,320 ～1,000	900 ～690	40.39 ～30.96
今回修正予想(B)	39,200	1,650	2,030	1,350	60.83
増減額(B-A)	△1,300 ～△400	570 ～880	710 ～1,030	450 ～660	20.44 ～29.87
増減率(%)	△3.2 ～△1.0	52.8 ～114.3	53.8 ～103.0	50.0 ～95.7	50.6 ～96.5
(参考)前期連結実績 (2020年3月期)	40,460	1,836	2,172	1,487	66.75

(注) 2021年3月期第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前期連結実績（2020年3月期）に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 業績予想修正の理由

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明な状況のもと、その影響が夏から秋まで継続すると想定し、業績見通しをレンジ形式により開示しておりました。しかしながら、2021年3月期第2四半期が経過しても、新型コロナウイルス感染症収束の兆しは見えず、当社が想定していたシナリオとはなりません。

現時点において、新型コロナウイルス感染症が当連結会計年度内に完全に収束する可能性は低く、当社の業績に対しても少なくとも通期で影響が続くと想定しております。そのため、緊急事態宣言などの大幅な社会活動の制限が行われないことを前提とし、お客様を含めた外部の情報を踏まえて再度検討を行い、業績予想を修正いたしました。

2. 期末配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	10 円 00 銭	(未 定)	(未 定)
今 回 修 正 予 想		9 円 00 銭	19 円 00 銭
当 期 実 績	10 円 00 銭		
前 期 実 績 (2020年3月期)	10 円 00 銭	11 円 00 銭	21 円 00 銭

(2) 配当予想修正の理由

期末配当については未定としておりましたが、この度公表した2021年3月期の業績予想に基づき、期末配当予想を公表いたします。

当社の配当の基本方針としております、連結配当性向30%以上の配当の実施や、財務状況などを総合的に勘案し、期末配当予想を1株につき9円とさせていただきました。

(注) 上記の予想数値は、発表日現在において入手可能な情報および当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、実際の業績等は、今後様々な要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上